

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	教 育	授業科目の担当状況【学部】(全学教育科目含む)	0.3	【5:特に優れている】 学部教育科目、全学教育科目を3コマ以上担当した。 【4:水準を上回っている】 学部教育科目、全学教育科目を2コマ以上担当した。 【3:水準に達している】 学部教育科目、全学教育科目を1コマ以上担当した。 【2:改善の余地がある】 学部教育科目、全学教育科目を担当していない。 【1:問題があり改善を要する】 学部教育科目、全学教育科目の担当を拒否している。
		授業科目の担当状況【大学院】	0	【5:特に優れている】 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		卒業研究指導状況	0	【5:特に優れている】 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		博士課程前期研究指導状況	0	【5:特に優れている】 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		博士課程後期研究指導状況	0	【5:特に優れている】 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
		留学生の受入状況	0	【5:特に優れている】 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
	教 育	教育方法の改善に関する取組状況	0.3	【5:特に優れている】 教育方法の改善に積極的に取り組み優れた成果を上げている。 【4:水準を上回っている】 教育方法の改善に積極的に取り組んでいる。 【3:水準に達している】 教育方法の改善に標準的に取り組んでいる。 【2:改善の余地がある】 教育方法の改善への取り組みが不十分である。 【1:問題があり改善を要する】 教育方法の改善に無関心である。
		その他の教育活動①	0.2	【5:特に優れている】 評価対象年度において、教育活動に対する表彰等を受けた。 【4:水準を上回っている】 顕著な教育活動を行っている。 【3:水準に達している】 標準的な教育活動を行っている。 【2:改善の余地がある】 教育活動に消極的である。 【1:問題があり改善を要する】 教育活動を拒否している。

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	研 究	学術雑誌等の論文公表の状況	0.2	<p>【5:特に優れている】 評価対象年度において著名な学術雑誌に論文が掲載された。</p> <p>【4:水準を上回っている】 学術誌への掲載論文が過去5年間で3点以上、または累積で15点以上有る。</p> <p>【3:水準に達している】 学術誌への掲載論文が過去5年間で1点以上、または累積で10点以上有る。</p> <p>【2:改善の余地がある】 学術誌への掲載論文が過去5年間で無く、かつ、累積でも9点以下である。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 学術誌への掲載論文が過去5年間で無く、かつ、累積でも3点以下である。</p>
		学術専門書等の執筆、編集の状況	0	<p>【5:特に優れている】</p> <p>【4:水準を上回っている】</p> <p>【3:水準に達している】</p> <p>【2:改善の余地がある】</p> <p>【1:問題があり改善を要する】</p>
		解説、総説等の公表状況	0.2	<p>【5:特に優れている】 評価対象年度において、著名な雑誌に、執筆した解説、総説等が公表された。</p> <p>【4:水準を上回っている】 評価対象年度において、執筆した解説、総説等が公表された。</p> <p>【3:水準に達している】 執筆した解説、総説等が過去5年間で1点以上、または累積で5点以上有る。</p> <p>【2:改善の余地がある】 執筆した解説、総説等が過去5年間で無く、かつ、累積でも1～4点である。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 執筆した解説、総説等が無い。</p>
		建築、芸術、演奏、体育系分野等の活動状況	0	<p>【5:特に優れている】</p> <p>【4:水準を上回っている】</p> <p>【3:水準に達している】</p> <p>【2:改善の余地がある】</p> <p>【1:問題があり改善を要する】</p>
		特許出願状況	0	<p>【5:特に優れている】</p> <p>【4:水準を上回っている】</p> <p>【3:水準に達している】</p> <p>【2:改善の余地がある】</p> <p>【1:問題があり改善を要する】</p>

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	研 究	学術賞等の受賞の状況	0	【5:特に優れている】
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
				【1:問題があり改善を要する】
		学会発表、講演等の状況	0.2	【5:特に優れている】 評価対象年度において、著明な学会にて基調講演等を行った。
				【4:水準を上回っている】 評価対象年度において、国際学会にて発表、講演等を行った。
				【3:水準に達している】 学会発表等が過去5年間で1点以上、または累積で10点以上有る。
				【2:改善の余地がある】 学会発表等が過去5年間で無く、かつ、累積でも9点以下である。
				【1:問題があり改善を要する】 学会発表等が過去5年間で無く、かつ、累積でも3点以下である。
		学術調査、研究報告等の活動状況	0	【5:特に優れている】
				【4:水準を上回っている】
【3:水準に達している】				
【2:改善の余地がある】				
【1:問題があり改善を要する】				
科学研究費の申請、獲得状況	0.1	【5:特に優れている】 科学研究費(代表)の獲得が過去5年間で3点以上有る。		
		【4:水準を上回っている】 科学研究費(代表)の獲得が過去5年間で2点以上、または累積で3点以上有る。		
		【3:水準に達している】 科学研究費(分担含む)の獲得が過去5年間で1点以上、または累積で2点以上有る。		
		【2:改善の余地がある】 科学研究費(分担含む)の獲得が過去5年間でなく、かつ、累積でも2点以下である。		
		【1:問題があり改善を要する】 科学研究費(分担含む)の獲得が過去5年間でなく、かつ、累積でも1点以下で、評価対象年度において、科学研究費の申請を行っていない。		
共同研究、受託研究、その他外部資金の獲得状況	0	【5:特に優れている】		
		【4:水準を上回っている】		
		【3:水準に達している】		
		【2:改善の余地がある】		
		【1:問題があり改善を要する】		

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	研 究	その他の研究活動 ①	0.2	<p>【5:特に優れている】 評価対象年度において、著明な学術賞等を受賞した、または、評価対象年度において特許の出願を行った。</p> <p>【4:水準を上回っている】 研究支援活動(研究倫理委員会委員等)を積極的に行っている。</p> <p>【3:水準に達している】 研究支援活動を標準的に行っている。</p> <p>【2:改善の余地がある】 研究支援活動に消極的である。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 研究支援活動を拒否している。</p>

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
		国、地方公共団体での活動状況	0	【5:特に優れている】
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
				【1:問題があり改善を要する】
		学会等の学術団体での活動状況	0	【5:特に優れている】
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
				【1:問題があり改善を要する】
	社会貢献	公開講座、生涯学習教育に関する活動状況	0	【5:特に優れている】
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
				【1:問題があり改善を要する】
		産学連携活動(技術移転、技術相談等)の状況	0	【5:特に優れている】
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
				【1:問題があり改善を要する】
	国際共同研究に関する活動状況	0	【5:特に優れている】	
			【4:水準を上回っている】	
			【3:水準に達している】	
			【2:改善の余地がある】	
			【1:問題があり改善を要する】	

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準	
		海外活動支援の状況	0	【5:特に優れている】	
				【4:水準を上回っている】	
				【3:水準に達している】	
		社会貢献	地域連携活動の状況	0.2	【5:特に優れている】
					評価対象年度において、きわめて重要な地域連携活動を行った。
					【4:水準を上回っている】
		社会貢献	その他の社会貢献活動①	0.2	評価対象年度において、きわめて重要な社会貢献活動を行った。
					【4:水準を上回っている】
					評価対象年度において、重要な社会貢献活動を行った。
	社会貢献	その他の社会貢献活動①	0.2	【3:水準に達している】	
				社会貢献活動に取り組んでいる。	
				【2:改善の余地がある】	
	社会貢献	その他の社会貢献活動①	0.2	社会貢献活動に消極的である。	
				【1:問題があり改善を要する】	
				社会貢献活動を拒否している。	

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	管理運営	学内の管理運営組織での活動状況	1	<p>【5:特に優れている】 保健管理業務の運営を担い、大きな問題なく運営が行われており、かつ、学内組織と積極的に連携して保健管理業務以外の重要な管理運営業務(各種委員会の委員等)も担っている(産業医業務は評価の対象外)。</p> <p>【4:水準を上回っている】 保健管理業務の運営を担い、大きな問題なく運営が行われており、かつ、学内組織と連携して保健管理業務以外の管理運営業務(各種委員会の委員等)も担っている(産業医業務は評価の対象外)。</p> <p>【3:水準に達している】 保健管理業務の運営を担い、大きな問題なく運営が行われている(産業医業務は評価の対象外)。</p> <p>【2:改善の余地がある】 保健管理業務の運営及び学内組織との連携に問題がある(産業医業務は評価の対象外)。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 保健管理業務の運営及び学内組織との連携に著しい問題がある(産業医業務は評価の対象外)。</p>
		入試業務に係わる活動状況	0.5	<p>【5:特に優れている】 入試における救護活動を積極的に行い、入試業務の運営に関して専門的見地から適切かつ有益なアドバイスを行っている。</p> <p>【4:水準を上回っている】 入試における救護担当に加え、入試業務の運営に関して専門的見地から適切かつ有益なアドバイスを行っている。</p> <p>【3:水準に達している】 必要に応じて入試における救護を担当し、大きな問題なく遂行できている。</p> <p>【2:改善の余地がある】 入試における救護を担当したが、大きな問題が発生した。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 入試における救護を全く担当しない。</p>
		入学・進学志願者増加に係わる活動状況	0	<p>【5:特に優れている】</p> <p>【4:水準を上回っている】</p> <p>【3:水準に達している】</p> <p>【2:改善の余地がある】</p> <p>【1:問題があり改善を要する】</p>
		就職支援、課外活動支援に係わる活動状況	0.2	<p>【5:特に優れている】 学生の就職活動、課外活動支援を積極的に行い、顕著な成果を上げている。</p> <p>【4:水準を上回っている】 学生の就職活動、課外活動支援を、健康相談以外にも行っている。</p> <p>【3:水準に達している】 学生の就職活動、課外活動に保健管理センターでできる支援(健康相談等)を行っている。</p> <p>【2:改善の余地がある】 学生の就職活動、課外活動に保健管理センターでできる支援(健康相談等)に消極的である。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 学生の就職活動、課外活動に保健管理センターでできる支援(健康相談等)を行わない。</p>

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	管理運営	その他の管理運営業務 ③	1	<p>【5:特に優れている】 学生及び教職員の健康の保持・増進について特に優れた取組を行い、顕著な成果を挙げた。</p> <p>【4:水準を上回っている】 学生及び教職員の健康の保持・増進について優れた取組を行った。</p> <p>【3:水準に達している】 学生及び教職員の健康の保持・増進について標準的な取組を行った。</p> <p>【2:改善の余地がある】 学生及び教職員の健康の保持・増進についての取組がやや不十分である。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 学生及び教職員の健康の保持・増進についての取組を行っていない。</p>